

報 告 書

横浜市立釜利谷東小学校の「はまっ子ふれあいスクール」の見学は次のとおりでした。

1. 日時 平成27年11月27日（金）13：30～15：20
2. 場所 横浜市立釜利谷東小学校
3. 出席者 横浜市放課後支援課 真野係長
「はまっ子ふれあいスクール」 櫻堂指導員
子ども子育て委員 菅原美子
子ども育成課 石井
4. 内容
横浜市の放課後支援の概要（真野係長）
横浜市の放課後支援は3つの事業がある。
 - （1）放課後キッズクラブ（放課後子ども教室と学童クラブの一体型）
放課後から17時までは全児童対象の「あそびの場」（無料）
17時から19時までが「学童クラブ」（有料）
運営は法人（NPO法人等）が行う（横浜市が法人へ補助する補助事業）
※各はまっ子、学童クラブにより内容は異なる。
 - （2）はまっ子ふれあいスクール（放課後子ども教室 文部科学省主管）
放課後から18時まで全児童対象の「あそびの場」（無料）
各はまっ子には運営委員会があり横浜市がその運営委員会へ委託している（委託事業）
 - （3）放課後児童クラブ（学童クラブ 厚生労働省主幹）
学校外のアパートなどで子どもたちの放課後の生活の場として実施している。
各児童クラブには保護者会があり横浜市がその保護者会へ補助している（補助事業）

横浜市は平成31年度までに全ての「はまっ子ふれあいスクール」を「放課後キッズクラブ」へ移行する計画を立てている。保育園の待機児童解消に伴い、保育園を卒園した子どもたちの就学後の学童保育を含めた放課後の居場所の確保が必要になることから、「はまっ子ふれあいスクール」から「放課後キッズクラブ」への移行を考えている。

はまっ子ふれあいスクール（釜利谷東）

- 放課後から18時まで全児童対象の放課後子ども教室を実施している。
- 1つの教室とグラウンドを利用できる。雨天時は、体育館が利用できる。（ただし、クラブ等で利用している場合は使用できない。）
- 全校生徒約350人中210人がはまっ子の登録をしている。
- 1日、40人程度の子どもたちが利用している。
- グラウンド開放時間までに帰宅する子は親の迎えはなし。グラウンド開放時間以降に帰宅する子は親の迎えをお願いしている。
- 横浜市は放課後指導員の相談を受ける教職員OB、OGを8人配置している。放課後指導員は何か問題がおきたり、気になる子どもがいれば相談ができるようになっている。

放課後子ども教室の印象は、小学校の中に児童館があるようなイメージでした。葉山町の放課後の居場所、過ごし方について、「はまっ子」は1つの手段として大変参考になりました。